



2025年

6月

中国四国農政局
広島県拠点

尾道市の特産品デラウェア 出荷最盛期へ！

尾道市は、広島県の東南部に位置し瀬戸内海に面して、昔より港町の商都として栄えてきました。

温暖少雨の瀬戸内海式気候ですが、市北部は昼夜の寒暖差が大きいことから、大正末期よりぶどうの栽培が始まり、デラウェアは昭和初期より栽培されています。

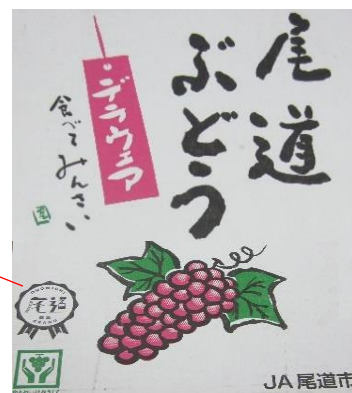
同市原田町でデラウェアのハウス栽培（13a）をされているJA尾道市ぶどう部会の行廣秀昭部会長、営農指導を担当されているJA尾道市営農経済部の延廣大祐係長に尾道市の特産品であるデラウェアのお話をお伺いしました。

「尾道ブランドぶどうのデラウェアについて」

JA尾道市ぶどう部会で生産されているデラウェアは、県内生産量の9割以上を占めています。

2018年から、尾道ブランド農産物認証制度（尾道の農産物の認知度向上により需要量の拡大につなげ、作付面積の拡大、作付者の増加を目指す）のブランド農産物になりました。

尾道ブランド農産物認証マーク



（贈答用化粧箱）

「JA尾道市ぶどう部会について」

部会は、JA尾道市営農販売課の管理指導により、現在部員54名（年齢42～82才）で活動しています。

栽培は、ハウス栽培が路地栽培より6～7割ほど多く、デラウェア以外にピオーネ・シャインマスカット・ニューベリーAであり、栽培面積は約13ha、近年は人気の高いシャインマスカットの栽培（6.3ha）が増加しています。

部員全員が、品質改善を目的として栽培管理を徹底し、消費者に安全・安心をアピールしています。

（たわわに実ったおいしそうなデラウェア）



（取材協力していただいた行廣部会長夫妻）

「今年のデラウェアについて」

作柄は、1～3月の低温により生育が遅れていましたが、4月以降の好天候により持ち直しました。

例年、獣害にありますが、今年はハウスに巻いている防獣ネットに電柵を加えるなど対策が功を奏しています。

品質は昼夜の寒暖差もあり、糖度上昇と着色が進んでおり、例年通りの上質な仕上がりです。

県内を中心に、5月下旬から出荷をしていますので、お店で見かけましたら小粒で糖度が高く、酸味が少ない老若男女誰でも非常に食べやすくおいしいデラウェアを堪能してください。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

＜農政局HP＞ <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>